

# はぐくみ会だより

第 1 号

平成 7 年 10 月 30 日

発 行 者  
富 山 県 立 高 岡 工 芸 高 校  
青 井 記 念 館 美 術 館 は ぐ く み 会

## 開館一年を顧みて

青井記念館美術館はぐくみ会

会 長 玉 井 晶 夫



青井記念美術館が開館して一年がたちました。当初は一日数十名のご来館から現在ではその数十倍の方々に貴重なコレクションの数々を鑑賞いただいております。

高岡市美術館に連なる設計をされた小さな施設であるが故にこだわりをもった展示や企画で、来観者により満足できる美術館づくりをここ数年の課題として受けとめております。

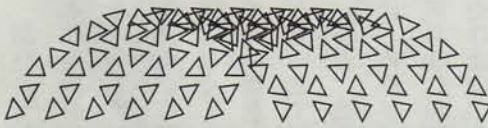
幸い、納富介次郎初代校長はじめ郷倉千朝氏、山崎寛太郎氏など、

高岡工芸高校に関わった教師や同窓生など日本を代表する作家の作品を創立以来収集しており、市民や在校生に対して「尚美の心」を知らしめ、地域文化向上の拠点となつてきております。

また中学生美術展を昨年企画実施いたしましたところ、大変な反

響もあり青少年の美術教育の推進の一助となりました。今後とも、はぐくみ会を通してこの美術館をご理解いただき、ご協力をいただいている会員の方々に日頃の御礼とますますのご支援をお願い申し上げます。

(アキデザイン主宰)



青井記念館美術館  
**第2回青井中美展**  
中学生美術展

作品募集！  
展示期間 1995.10.25(水)～10.31(月)

中学生諸君！表現と創造の出会いを求めて  
青井記念館美術館に作品を展示してみませんか。

会場 富山県立高岡工芸高等学校 開催期間 1995.10.25(水)～10.31(月)  
富山県立高岡工芸高等学校 富山県立高岡工芸高等学校

## 青井記念館美術館

## 満一歳

学校長 米島 秀次

昨年は同窓会をはじめ関係各位の絶大なご尽力とご支援により盛大な創立一〇〇周年記念式典を挙行することができました。また、尚美広場の建設や青井記念館の移転新築など、本校の一〇〇年の伝統にふさわしい多くの記念事業を行っていただき、教育環境が一段と整備されました。関係各位のご支援に対し厚くお礼申し上げます。

さて、今日の急速な科学技術の進歩や情報化、国際化の進展など社会の進展に対し、学校教育はいま大きな課題に直面しています。加えて長寿社会の到来は生涯学習社会への移行をもたらし、社会における学校の役割が改めて問われるようになりました。また、価値観の多様化により「特色ある学校づくり」が強く求められています。

このような時代にあつて、本校の青井記念館美術館の開館は誠に意義深いものがあります。

昨年九月の開館以来、開館記念所蔵作品展、創立一〇〇周年特別寄贈作品展、初代校長納富介次郎展などの企画展を開催し、青井記念館美術館も満一歳となりました。一般参観者は約二万名に達し、団体鑑賞に訪れた小・中学校も数多く、また個人的に特定の作家の鑑賞に訪れた人も多くいます。

また、創立一〇〇周年を機に開催いたしました第一回青井中美術展（中学生美術展）には約六〇〇点もの応募があり、児童生徒の美術教育の活発化に大いに寄与できたことを喜んでいきます。

もちろん、青井記念館美術館に収蔵され、展示されている作品が、本校の工芸科やデザイン科生徒の非常に有益な教材となり、また全校生徒の文化と伝統を尊重し豊かな心を育んでいることは申すまでもありません。

このような青井記念館美術館の本校生徒や地域社会における役割を十分ご理解いただき、維持管理や運営にご支援いただいております。はぐくみ会”の皆さんに重ねて深い敬意と感謝の意を表したいと思ひます。

なお、道吉勝重氏（本校卒業生）はじめ昨年の一〇〇周年記念寄贈展以後に特別に寄贈いただきました作品は、その都度美術館に展示させていただきました。また今年度は富山県の卓越技能者（現代の名工）からの寄贈作品九点を県からの保管転換により収蔵いたしました。

今後はさらに運営や展示、広報に工夫をこらし、高岡工芸高校の特色ある美術館として大きく育てたいと思ひます。

今後ともよろしくご支援のほどをお願いいたしますとともに、会員の皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

はぐくみ会  
会員を募集

## 主な活動

- 1 青井記念館美術館への協力・支援
- 2 中学生美術展（青井中美展）への支援
- 3 美術館だよりの発行

## 会員の特典

- 1 企画展等の案内
- 2 美術館だよりの配布
- 3 美術教室への参加

（青井記念館美術館への入場は無料です）

## 申し込み方法

入会申込書を左記まで（電話でも結構です）

〒933 高岡市中川一丁目二二〇  
高岡工芸高校青井記念  
美術館はぐくみ会事務局宛

TEL(056)311-6300  
FAX(056)311-6311  
年会費(毎年一回納入)

一般会員(個人)二、〇〇〇円  
特別会員(企業、団体等)

一〇、〇〇〇円

## お問い合わせ

青井記念美術館はぐくみ会  
事務局まで

TEL(056)311-6300  
(内線85)

FAX(056)311-6311

第一回

青井中美展について

募集期間

平成6年10月26日(水)

～11月8日(火)

展覧会期間

平成6年11月22日(火)

～11月30日(水)

応募総数

608点

受賞について

青井大賞	1点
優秀賞	2点
優良賞	5点
佳作	10点
特別賞	5点
学校奨励賞	3校
入選	362点

審査員の評  
絵画部門

どの作品にも主体的に挑む中学生のみずみずしい感性とはつらつとしたパワーが満ち溢れて

いた。

彫刻・工芸部門

全体的に生活に密着した素材を自由に活用して新しい感覚で生徒たちの若い香り作品に満ちあふれ、表現されていた。

デザイン部門

「若い勢い」を感じる作品が多い。デザインのきつかけづくり、またデザイン教育に熱心に取り組んでおられる先生の姿も個々のテクニクを通してみることができました。

デザインは、基礎を充分積み重ねながら独創性、感性の調和によって表現されることが今、中学生に求められている。



第一回青井中美展  
優良賞を受賞して

17ホーム 夏目 薫子

(高岡市高陵中学校出身)

私は犬が大好きで、油絵を始めたところからずっと犬を中心とした絵ばかり描いていました。中学に入ってから運動部に入ったために、なかなか絵を描く時間がありませんでした。

しかし、三年の選択教科で美術を選び、再び油絵を始め、青井中美展に出品することになりました。でも、犬の作品をどうしても出したいと思い、授業で描いた以外に新しく家で描きはじめました。締め切りまで余り時間がなく、しかも学校祭と重なって本当に多忙な中で描いた絵でした。ある程度絵の具を塗ると色が入らなくなる為苦労しました。乾かす時間も考えて、一週間位でいそいで描きあげました。

優良賞を受賞したと美術の先

生から聞いたときには本当にびっくりしました。母が以前描いた静物画の影のつけ方や塗り方を見て描いた絵が賞をもらいうれしかったです。

工芸高校が行う展覧会ということで県内からいろいろな作品が集まるのだろうと予想してましたが、実際に集まった作品を見て、やはりレベルが高く驚かされました。

人間は、時間がないときのほうが物事を真剣に取り組むことができるので、私もその作品を仕上げることができるのだと思います。

今、その犬の絵を見て、もつとこうすればよかったという点がいくつもあります。時間を上手に使って一枚でも多くの絵を描きたいです。これからも犬を中心に描いていきたいと思っていますが、他の絵にも挑戦していきたいと思っています。

優良賞を受賞して、本当に驚きました。が、ずっと描いてきた犬という題材が認められたようであれしかったです。これからもこれを励みに頑張っていきたいと思っています。

第二回

青井中美展迫る!

開催期間

平成7年11月22日(火)

11月30日(木)

作品募集期間

平成7年10月25日(水)

11月6日(月)

今年の第一回青井中美展は県下  
全域の中学校から約六〇〇点の力  
作を応募いただきました。

本年第二回目の青井中美展も昨年  
以上の成功を収めるよう各中学校  
の絶大なご協力をお願いします。

次の企画展の予定

工芸学校秘蔵作品展

平成7年12月10日

平成8年4月10日

大正昭和期の工芸学校の生  
徒の実習作品や草稿・下絵な  
どで工芸・図案教育を紹介。

青井記念館美術館開館  
一年の歩み

※開館 平成6年9月15日

開館記念所蔵作品展

平成6年9月15日(木)~10月10日(月)

久隅守景『十六羅漢之図』、梅佑  
軒勝信『ふみから図』、初代大島  
五雲『梅蘭透欄間』、山崎覚太郎  
『漆絵額 紅梅』、など本校秘蔵の  
名品96点を展示

※高岡工芸高校

創立100周年記念寄贈作品展

平成6年10月21日(金)~11月10日(木)

現在活躍中の卒業生はじめ本校に  
ゆかりのある美術工芸作家67名か  
ら70点の優れた労作を寄贈いた  
だき展示

※第1回中学生美術展(青井中美展)

平成6年11月22日(火)~11月30日(木)

県下全地域の中学校から約600  
点の力作を応募いただく

※所蔵作品展及び特別展

納富介次郎と工芸教育

平成6年12月10日(土)

~平成7年3月30日(木)

本校初代校長及び創校当時の指導  
陣の意欲と情熱に燃えた工芸教育

※所蔵作品展及び特別展

工芸高校の蔵書展

平成7年4月8日(土)~7月20日(木)

本校前身の商品陳列所の蔵書を併  
せ本校創立以来の珍籍古書を展示

※現代美術工芸展

平成7年8月1日(火)~11月15日(水)

創立100周年寄贈作品展の感激を  
再現

来館者の声 (感想)

- ・非常にすばらしくとても感動し  
た。他の作品も見てみたい
- ・いろいろな分野の美術作品が鑑  
賞できてとても有意義
- ・いつ来ても楽しい、たびたび展  
示替えられるのがよい
- ・工芸高校の歴史がわかる
- ・工芸高校には宝の山がある。
- ・美術館以上だ
- ・高校でこんな記念館を持って大  
変幸せ
- ・収蔵品を余さず活用し、在校生  
にもよい影響、刺激を与え続け  
ていくとよい
- ・入場無料はともありがたい
- ・絵の説明をととても楽しく拝見し  
た

もう一度

- ・来て、違  
った気持  
ちで見て  
みたい
- ・工芸高校  
の歴史と  
伝統のすばらしさを痛感した
- ・来館者の声 (要望)
- ・卒業生美術作家の展覧会
- ・日本画展
- ・漆の展覧会
- ・高岡らしいもの
- ・もっと規模が大きい中学生展
- ・小学校の連合展覧会
- ・仏像のみの展覧会
- ・簡単な説明書がほしい
- ・一般人が入りにくい(入り口が



関 義平 狛 置物

わかりにくい)

貴重なご意見をありがとうございます  
ありがとうございました。これからの美術館運営  
に参考にしたいと考えています。

編集後記

開館から数回、作品の展示替え  
をした。その都度来館され、親し  
みを込めて作品・作家について話  
される方が多くなってきた。もう  
立派に美術館としての存在価値が  
認知されたようである。今後一層  
企画に努力しなければと思ってい  
ます。